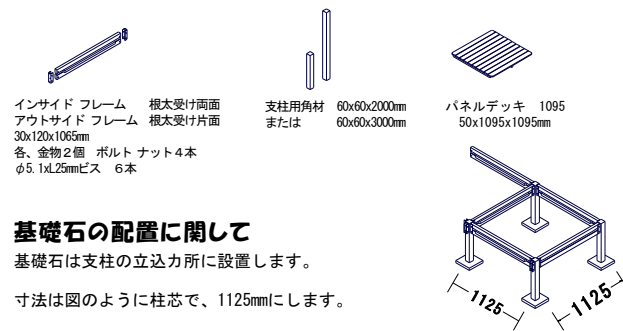


ユニットデッキ 1095 取り扱い説明書

組み立ての前に部材の確認をして下さい。



デッキのレベルに関して

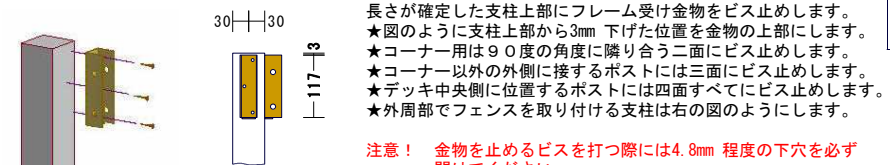
デッキ設置の最大のポイントは水平レベルの取り方で、これが済めばきれいな仕上がりは確実です。

基礎石の設置が完了したところで各支柱の長さを決定します。

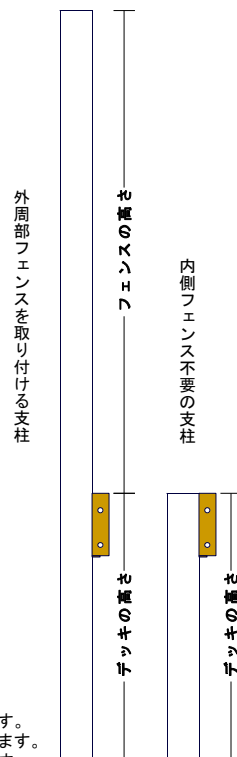
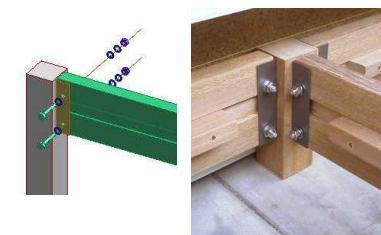
支柱の上端がデッキ面になりますのでレーザー水準器を使用してそれぞれの支柱の長さを決定します。

★外周部でフェンスを取り付ける支柱は右の図のようにデッキレベルからフェンス支柱分を伸ばします。

フレーム受金物の取付



フレームの取付



パネルデッキをフレームの間にめ込みます。

★最初の区画のボルトをしっかりと締め込み1枚目のパネルデッキをはめ込みます。
★1枚目がフレームの中にはめ込まれたら次の区画のボルトをしっかりと締め込み2枚目のパネルデッキをはめ込みます。
この作業を繰り返し床面を完成させます。
★なかなかパネルデッキがはまらない場合はポストの位置をずらすようにするとうまくできます。

★はめ込み作業をする際にフレームとパネルデッキの間に指を挟んだりしないように充分に注意をして作業してください。

手摺りを取り付けます。

★手摺りを支柱の上に乗せて上面から支柱に対してビス止めをします。(要 下穴開け)
★手摺りが直角に交差する所は手摺りを45°にカットして額縁の様に合わせてください。
★フェンス面材は独自のデザインになるかと思いますので別途ご相談ください。
φ4mm 位のワイヤーを柱に通すという方法もあります。
★用意できる サイズは 20x105mm 30x120mm などがあります。

支柱の振れ止めについて

★デッキ下の支柱の長さが 800mm を超える場合は図のように支柱に板をビス止めして補強を施してください。
★振れ止め材は 30x60mm もしくは 20x105mm がお勧めです。

★階段部材、フェンス部材、笠木材は別途です。
環境や用途によって適切なデザイン、部材寸法をご提案します。

ご使用上の注意 (必ずお読み下さい)

- この製品の素材は耐久性のある非常に硬い木材ですのでササクレ、トゲなどがささりケガをする危険がありますので直接肌に触れないように作業の際には手袋などをご使用下さい。
- 設置後、歩行する際には靴、サンダル等の履き物を使用して下さい、素足で歩行するとササクレ、トゲ等でケガをする危険があります。
- 天然素材特有の経年変化により変色、割れ、ササクレ、トゲがあらわれる事がありますので、ご使用になる前に点検する事をお勧めします。手摺りに衣服を掛けて乾かししたりした場合にそれらの繊維がほつれることがあります。ササクレが目立つ場合はサンドペーパーなどで表面を研磨してください、またトゲや割れて浮いた様な部分はカッターもしくはノコギリで切り取った後にサンドペーパーで表面を研磨してください。
- 鉄粉や銅パイプの切り粉等が木部に付着し木材の持つタンニンと反応して黒色の斑点が現れることがあります。カビではありません、タンニン鉄と言うもので専用の除去剤で綺麗になります。
- 雨などにより、木材の色素が床面または壁面に付着することがありますのでご注意ください。
- 素材の特質に起因する経年変化、汚損そして誤った利用法による損害に対して当社は一切の責を負いません。
- この取り扱い説明書はいつでも見られるように大切に保管してください。

佐藤物産株式会社

URL : www.satobussan.co.jp/
Mail : post@satobussan.co.jp

〒171-0022
東京都豊島区南池袋 2-4-7-7
TEL. 03-3981-2274 FAX. 03-3981-2284

*****ご 注 意*****
使用している硬質木材は耐久性がある木材で繊維が非常に硬いため、トゲで怪我をしない様に作業の際は必ず軍手等の手袋を着用してください！！
重量がありますので手を挟んだり、足の上に落としたりしないよう充分ご注意ください。